



(仮称)子ども包括支援センター「みらいく」に
子育てひろばを設置する
ためのワークショップ

日時:令和4年11月3日(木)14:00~16:00
場所:日野市役所505会議室

式次第



▶ 本日のワークショップのプログラム

| 時間 | 内容 | 全体 | グループ |
|-----------------|--|----|------|
| 14:00~ (5分) | 1. 開会 2. あいさつ | ○ | |
| 14:05~ (20分) | 3. 情報提供 ・参加者の紹介 ・ワークショップの狙い等 ・ワークショップの進め方 | ○ | |
| 14:25~ (50分) | 4. ワーク①_グループ別の検討 ・自己紹介 ・キーワードやイメージの検討 | | ○ |
| 15:15~ (35分) | 5. ワーク②_追加の意見・アイデアの検討 ・全体発表 ・発表を聞いて考えた内容の共有 | ○ | ※ |
| 15:50~ (10分) | 6. 次回の予定等のお知らせ 7. 閉会 | ○ | |

※残り時間によっては全体で進行する可能性があります

子ども包括支援センター「みらいく」とは…

▶ すべての子どもの健やかな成長を切れ目なく支援する子ども・家庭・地域の子育て機能の総合支援拠点です

- ▶ 次年度末頃のオープンを目指して、市役所の隣に、地上3階建、建築面積約860㎡、のべ床面積約2,300㎡の建物を整備しています。(下図参照)
- ▶ この中に、妊娠期から18歳まで切れ目なく支援するための以下のような機能が入ります。



2022年11月3日第1回ワークショップ資料

▶ 2頁

子育てひろばとは…

▶ 乳幼児とその保護者が一緒に遊んで過ごせる場所です (↑ 今回の施設では0～3歳程度を想定)

1. 親子が遊び、交流できる場があります

たくさんの遊具やおもちゃ、絵本等があり、お子さんが安全に遊べる環境が整っています。また、同じような年齢のお子さんを持つ方が集まるので、遊び友達(子)や子育て仲間(親)を見つけることもできます。

2. 子育て相談ができます

子育ての悩みや育児についての相談など、子育てひろばの職員に気軽に相談することができます。

3. 子育てに関するいろいろな情報があります

地域の子育て支援情報や子育てグループの情報などを発信します。

4. 子育てに関する講座を行っています

「離乳食」や「ふれあいあそび」など、子育てに関する講座も開催します。

東京都の子育てひろば(地域子育て支援拠点)の紹介より

2022年11月3日第1回ワークショップ資料

▶ 3頁

子育てひろばとは…

▶ 特に今回新たに整備する施設では、以下のような視点を大事にしたい／加えたいと考えています

▶ 拠点となる大規模施設

子育ての孤立化を防ぐため、市内の乳幼児とその保護者が気軽に足を運んでもらえる施設とします。(仮称)子ども包括支援センターにふさわしい、市内の拠点となる施設を目指します。

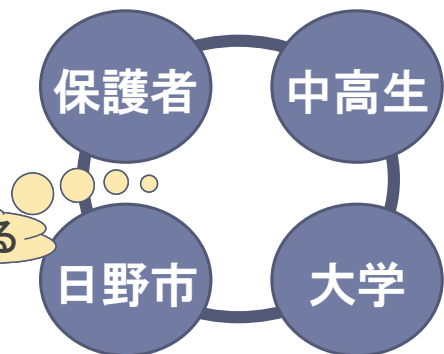
あそこなら行ってみたい



▶ 様々な人が関わる施設

オープン後はもちろん、整備段階から敷地を所有する実践女子大学や子育てひろばの隣の中高校生支援施設に通う中高生等と連携して作り上げます。

一緒にこんなことができる



2022年11月3日第1回ワークショップ資料

▶ 4頁

ワークショップの狙い

▶ 様々な人が関わる施設にするための第一歩として、保護者(市民)や大学等と意見を出し合い整備内容に反映します

- ▶ 子育てひろばのデザイン(レイアウトや遊具・内装の内容)とそこで実施するプログラム(使い方、イベントの内容)を検討し、図面等にまとめます。
 - ▶ 次年度にはワークショップで検討した内容を踏まえて整備を行います。
 - ▶ さらに、検討したプログラムが実際に実行されることも目指しています。
- ▶ 検討の具体的な進め方については次頁以降を参照のこと。

| 令和4(2022年度) | 令和5(2023年度) | 令和6(2024年度) |
|---|--|--|
| デザインとプログラムの検討 <ul style="list-style-type: none"> ● 保護者や大学、中高生を含めた市民ワークショップを実施 | 環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ● 検討結果をもとに子育てひろばの内装の整備や必要な備品の購入を実施 | 運営開始 <ul style="list-style-type: none"> ● オープンイベントの実施 ● 検討したプログラムの実行・改善 |

2022年11月3日第1回ワークショップ資料

▶ 5頁

ワークショップの流れと各回の実施内容

▶ 目標イメージから最終的な図面まで少しずつ「子育てひろば」の中身を具体化していきます(全5回程度を想定)

第1回
(11月3日(木))

目標イメージの検討:「こんな使い方ができるといいな」「こんな雰囲気だったらいいな」という目標イメージをキーワードや写真を使って検討します

見学会
(11月中～下旬)

他市の子育てひろばの見学 ※希望する方のみ参加
(参加できなかった方向けに第2回のワークショップで見学会の報告を行います)

第2回
(11月27日(日))

場所のイメージの検討:見学した施設なども参考にしながら、第1回で検討した内容を整理して「こんな場所があると良い(〇〇ゾーン等)」を検討します

第3回
(12月17日(土))

全体レイアウトの検討:第2回で検討した「場所(〇〇ゾーン等)」を配置して、実際の使われ方をイメージしながら必要な設備や注意点等を検討します

第4回(仮)
(1月中～下旬)

詳細イメージの検討:第3回までの検討内容を反映した計画の叩き台(図面)をもとに遊具の配置や内装の素材などの具体的な内容を検討します

第5回(仮)
(2月中～下旬)

最終案のまとめ:第4回の検討内容を確認・修正して最終案(図面)を完成させます

- ▶ この他に建設中の敷地や建物の中に入ることができる機会を設ける予定です
- ▶ 中高生支援施設との連携についても検討を行います
- ▶ 年度末には中高生支援施設との連携によるお試イベント(プレプログラム)も実施する予定です

2022年11月3日第1回ワークショップ資料

▶ 6頁

ワークショップの流れと各回の実施内容

▶ 具体化の流れを単純化するとこんなイメージです

まずは

目標となるイメージを膨らませる

こんなことがしたい

こんな人にも来てもらいたい

こんな遊具があると良い

こんな雰囲気だったら通いやすい

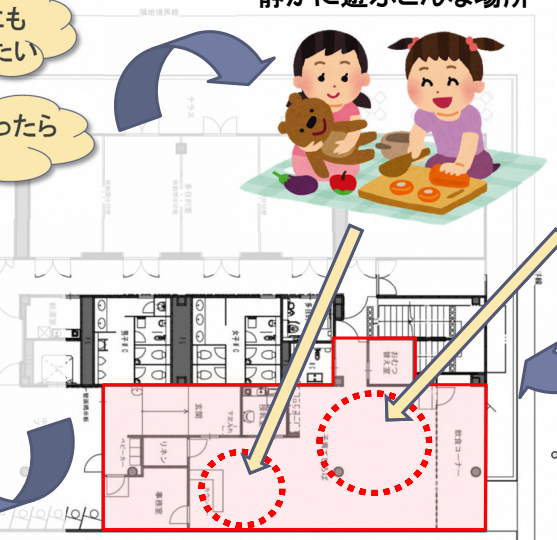
当初の考えを反映できたか最終確認



使い方のグループをつくって

例えば…
静かに遊ぶこんな場所

体を動かせる
こんな場所



こんな使い方も加えたい

ここには注意が必要!

他にどんな配慮が必要?

2022年11月3日第1回ワークショップ資料

▶ 7頁

本日の作業の進め方_ワーク①

- ▶ 少人数のグループに分かれて、「こんな使い方ができるといいな」「こんな雰囲気だったらいいな」という目標イメージを検討します

▶ 「こんな使い方ができるといいな」

“誰が(誰に来て欲しいか)”“どんな使い方”をするかのアイデアを考えてみましょう。“今の私(や子ども)”だけでなく、“〇年後の私”やご自身以外の人のことも想像してみましょう。

▶ 「こんな雰囲気だったらいいな」

例えば、「安心できる」「子どもが遊びたくなる」「リラックスできる」など。そのためにどんな空間が好ましいかを考えてみましょう。ご自身やお子さんが好きな場所で参考になるようなものがあれば教えてください。

《参考》一般的な機能はこんな内容ですが… (詳細は3頁)

1. 親子が遊び、交流できる
2. 子育て相談ができる
3. 子育てに関するいろいろな情報がある
4. 子育てに関する講座を行っている

2022年11月3日第1回ワークショップ資料

▶ 8頁

本日の作業の進め方_ワーク①

作業の進め方

- ▶ はじめに良いなと思う「使い方」や「雰囲気」を黄色の付箋にお書きください。(写真をお持ちの方は、なぜその写真が良いと思うか)
- ▶ お名前と一言コメント(「子育てひろば」に対する思い等)、付箋に書かれた内容を順番に紹介していただきます。

※写真がなくても構いません。
目標にしたいイメージ
を教えてください。

〇〇な使い方が目標!

××なところ(雰囲気)がお気に入り!



- ▶ 一通り紹介が終わったら、他の人の発言を聞いて思いついたアイデアをどんどん出し合いましょう。気になることがあれば質問も是非。

ワークショップの心得

楽しく(遠慮しないで気楽に発言)

みんなで(他の人の機会を奪わないよう発言は手短かに)

意見交換(自分とは異なる考えや意見を尊重)

2022年11月3日第1回ワークショップ資料

▶ 9頁

本日の作業の進め方_ワーク②

作業の進め方

- ▶ まず、ワーク①で話し合った内容を、グループの代表者の方から発表していただきます。
- ▶ 発表を聞きながら、「良いな」と感じた内容、「思いついたアイデア」を水色の付箋に、「ちょっと心配」と感じた内容をピンク色の付箋にお書きください。（1枚の付箋に1つのコメント／付箋は何枚でも構いません）
- ▶ 各グループの発表が終わったら、書いた付箋を壁に貼られた模造紙の関係する箇所に貼り付けてください。
- ▶ 貼り付けられた付箋の内容を確認して、追加の話し合いを行います。

ここでは、他のグループの検討内容を聞いて、追加の意見やアイデアを検討します

本日の作業の進め方_ワーク①②

- ▶ メモ欄としてご活用ください

おわりに_見学会のご案内

▶ 第2回ワークショップの前に以下の見学会を開催します

- ▶ 日 時：11月18日（金）8：45～17：45（おおよその時間です）
- ▶ 見学先：①和光市広沢複合施設「わぴあ」総合児童センター
（埼玉県和光市広沢1番5-54号）
▶ ②荒川区立「ゆいの森あらかわ」子どもひろば
（荒川区荒川二丁目50番1号）
- ▶ その他
 - ：集合は8:45@日野駅改札口／解散も同じ場所を想定しています
 - ：現地集合や途中参加・解散を希望する方は申込の際にその旨をお伝えください
 - ：切符等のご自身での購入（立て替え）をお願いします
（昼休憩等の時間に委託事業者から交通費相当額をお支払いします）

参加希望の方は11/10までにこちらまでご連絡ください

日野市子ども部子ども家庭支援センター（担当：藤井、新井）

TEL 042-599-6670

メール hohoemi@city.hino.lg.jp

おわりに_次回の開催予定

▶ 第2回ワークショップは以下の通り開催します

- ▶ 日 時：11月27日（日）14:00～16:00
- ▶ 会 場：日野市役所101会議室（今回と部屋が異なります）
- ▶ 内 容：見学会で訪問した他市の子育てひろばの様子をご紹介します。
他市の事例も参考に、施設内にどんな場所があると良いか（こんな使い方ができるこんな雰囲気的空間が必要）を検討します。

アンケートのお願い

- ▶ 本日のワークショップの感想等をこちらのアンケートにお寄せください。
進行の不備等をご指摘いただければ次回から改善を図ります。
- ▶ ワークショップ後に良い考えが思い浮かんだ方、言い忘れたことがある方は是非その内容を教えてください。
- ▶ 回答は以下のURLまたは右のQRコードからお願いします
<<https://forms.gle/6CXkMgwjkqGGR94A>>





▶ 見学予定の施設はこんなところです

▶ ①和光市広沢複合施設「わぴあ」総合児童センター

- ▶ 2021年12月にオープンした複合施設「わぴあ」内に設置されたベビーからキッズ、ティーンズまでを対象にした「総合児童センター」
- ▶ 運営委託を受けた民間事業者が「note」を活用した情報発信やmamaマルシェの立上げなど意欲的な取組も行っている



2022年11月3日第1回ワークショップ資料



▶ 見学予定の施設はこんなところです



▶ ②荒川区立「ゆいの森あらかわ」子どもひろば

- ▶ 2017年3月にオープンした「ゆいの森あらかわ」に設置された科学実験やワークショップ等を通じて子どもたちの夢や生きる力を育む施設
- ▶ 乳幼児向けの室内遊びと子育て世代の交流の場となる「遊びラウンジ」、実験もできる「学びラウンジ」、併設された図書館・文学館を利用する際に子ども(乳幼児)を預かる一時預かり施設など



2022年11月3日第1回ワークショップ資料

